

緑区制50周年のあゆみ

昭和44年 — 平成30年

| | | | |
|-------|--|-------|---|
| 昭和44年 | 港北区から分区し、緑区が誕生。川和町の区庁舎で業務を開始する。(人口123,262人、面積77.60km ²) / 東名高速道路全面開通 | 平成3年 | 川和郵便局が中山町に移転し、緑郵便局として業務開始 |
| 昭和46年 | 竹山団地完成 | 平成4年 | 横浜市行政区再編成審議会が、緑区・港北区の4分割案を答申 |
| 昭和47年 | 緑区総合庁舎が寺山町に完成、業務開始 / 緑公会堂開設 / 三保市民の森開園 | 平成5年 | 長津田行政サービスコーナー業務開始(平成31年3月閉所) |
| 昭和48年 | 緑警察署開設 | 平成6年 | 行政区再編実施により、現在の緑区(人口149,319人、面積25.42km ²)、現在の港北区、青葉区、都筑区の4区誕生 / 区民投票により区の木「カエデ」区の花「シラン」が決定 / 現在の緑土木事務所開所 |
| 昭和50年 | 東京工業大学すずかけ台キャンパス開設(旧長津田キャンパス) | 平成7年 | 緑図書館、十日市場地域ケアプラザ、老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘の複合施設開設 / 緑区休日急患診療所開所 / 横浜商科大学みどりキャンパス開設(平成21年に運動部のみの使用となる) |
| 昭和54年 | 横浜線十日市場駅開業 | 平成8年 | 区の木・区の花のデザイン制定 |
| 昭和59年 | 白山ハイテクパークを整備し、先端技術の研究開発企業を誘致 | 平成9年 | 区のうたの制定 / 昭和大学横浜キャンパス(旧昭和大学医療短期大学)開設 |
| 昭和61年 | 山内支所を廃止し、緑区役所北部支所を開設 / 緑スポーツセンター開館 | 平成10年 | 中山地区センター、緑区社会福祉協議会、中山地域ケアプラザ等の複合施設「ハーモニーみどり」開館 |
| 昭和62年 | 白山ハイテクパーク操業開始 | | |
| 昭和63年 | JR横浜線全線複線化、快速運転開始 / 県立四季の森公園開園(平成2年に全面開園) | | |
| 平成元年 | 緑区のシンボルマーク制定 / 山下小学校分校跡地に山下地域交流センターが開館 / 東洋英和女学院大学、横浜創英短期大学が開学 | | |

緑消防署のあゆみ

神奈川消防署時代 【昭和26年まで】

昭和20年 神奈川消防署 長津田消防出張所開設

港北消防署時代 【昭和26年～昭和47年】

昭和42年 港北消防署 十日市場消防出張所開設

分区前の緑消防署 【昭和47年～平成6年】

昭和47年 港北消防署から分離独立 緑消防署の開設

昭和50年 鴨居消防出張所開設

昭和59年 白山消防出張所開設

分区後の緑消防署 【平成6年～令和2年3月現在】

平成6年 行政区再編に伴い組織の分割

平成26年 緑消防署の新庁舎完成



昭和40年代の標準型ポンプ車



緑消防署新庁舎

平成11年 よこはま動物園ズーラシアが一次開園(平成27年ズーラシア「アフリカのサバンナ」全面オープン)

平成12年 新治市民の森開園

平成14年 市営北部斎場開設

平成15年 鴨池大橋開通

平成17年 鴨居原市民の森開園

平成18年 みどり地域活動ホーム「あおぞら」、緑区生活支援センター、緑区市民活動支援センター「みどりーむ」、地域子育て支援拠点「いっぽ」開設

平成20年 霧が丘複合施設「霧の里」開設／市営地下鉄グリーンライン開通／鴨居上飯田線供用開始

平成21年 緑区キャラクター「ミドリン」誕生(愛称は翌年1月に決定)／新治里山公園・にいほる里山交流センター第1期開園(平成24年第2期開園)

平成22年 山下長津田線「白鴨トンネル」開通

平成24年 横浜創英大学開学

平成25年 緑区民文化センター「みどりアートパーク」開館

平成26年 みどりーむ新築移転／緑区役所耐震補強工事により本庁舎と仮設分庁舎で業務開始／緑区遺産第一号「緑新栄会」登録／中山北山田線供用開始

平成28年 緑区役所耐震補強工事完了、全課が本庁舎で業務開始

平成30年 緑区制50周年ロゴマーク、キャッチフレーズの制定

緑区のシンボルマーク



緑区制50周年のあゆみ(病院編)

| 年 | 出来事 | 病院数 | 一般診療所数 |
|---------|------------------------------|-----|--------|
| 昭和44年 | 港北区から分区して緑区が誕生 | 3 | 74 |
| 昭和61年 | 緑区役所北部支所が開設される | 17 | 185 |
| 平成7年10月 | 前年11月に、青葉区と都筑区が誕生して、現在の緑区になる | 8 | 72 |
| 平成31年3月 | 現在 | 8 | 124 |

(現在以外の統計数については『横浜市統計書』より引用)

災害時に被災を免れた場合に、主に中等症の負傷者受入れについて協力いただく病院が区内に7か所あります。(開院順。開院年については、各医療機関のWebページを参照。名称は令和元年10月1日時点)

緑区災害時救急病院

| 開院年 | 病院名 |
|-------|-----------------------|
| 昭和30年 | 一般社団法人日本厚生団 長津田厚生総合病院 |
| 昭和46年 | 医療法人社団恵生会 竹山病院 |
| 昭和48年 | 医療法人社団 鴨居病院 |
| 昭和55年 | 医療法人社団青葉会 牧野記念病院 |
| 昭和56年 | 医療法人社団元気会 横浜病院 |
| 昭和63年 | 医療法人若葉会 横浜田園都市病院 |
| 平成3年 | 医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院 |